浦添市保健相談センターから　☎875-2100　FAX875-1579

■はぐはぐてぃだっこ事業

浦添市では、地域全体で子育てのお手伝いをしていくことを目的とし、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を助産師・保健師・母子保健推進員が訪問します。

新生児訪問

助産師や保健師の訪問を希望する方は　親子（母子）健康手帳についているハガキ（ピンクか白）を送ってください。赤ちゃんの体重測定、おっぱいの状態の確認、母子保健事業の紹介などを行います。

対象者　新生児・2か月未満の乳児　母親

料　金　無料

※出生届と一緒に提出される場合、切手は必要ありません。

■マタニティースクールの案内

パート1	
実施月日	11／21（日）受付　午前9時　教室実施　午前9時15分～12時
内　容	「私らしい妊娠・出産をめざすために」（助産師講話）「母乳の話・妊婦体操・パートナーシップと子育てについて考えよう」

■ベビースクールの案内

パート1		パート2	
対象月齢	1～4か月児	対象月齢	5～11か月児
実施月日	11／15（月）受付　午後1時　教室実施　午後1時半～4時	実施月日	10／15（金）11／26（金）受付　午後1時　教室実施　午後1時半～4時
内　容	体重測定・赤ちゃんモードを受け止めよう・産後の心と体の変化・グループワーク	内　容	離乳食の調理実習（実習費300円）各時期の固さや味など実際に確認しましょう。
定員	20組	定員	20組

※ベビースクールに参加する方は3日前までに予約の電話を保健相談センターまでお願いします。

※親子（母子）健康手帳・筆記用具を持参してください。

■乳幼児健康診査のおしらせ

乳児一般健康診査		
通知対象者	生後9～10か月	生後3～4か月
受付時間	午前9時～11時	午後1時～3時
実施日	10／10（日）	11／7（日）

※衣服の着脱があります。替えのオムツ、おくるみを持ってきてください。

※健診終了後9か月～10か月のお子様を対象にブックスタート事業として無料で絵本の贈呈を行っています。

その場で絵本を紹介し、お子様や保護者の方にお好きな本を一冊選んでいただきます。健診終了後ぜひご参加ください。

1歳6か月児健康診査	
通知対象者	1歳6か月～2時15分
受付時間	午後1時15分～2時15分
実施日	10／7（木）10／14（木）

3歳児健康診査	
通知対象者	3歳6か月～
受付時間	午後1時15分～2時15分
実施日	10／6（水）10／13（水）

※1歳6か月児、3歳児健診の整理券交付は正午から行います。

※実施場所は浦添市保健相談センターです。

※健康診査対象者には、事前に通知を行っています。

※健診予定日の都合が悪い場合は連絡をお願いします。

■集団予防接種のお知らせ

●ポリオ集団予防接種（平成22年度後期）

対　象　生後3か月～7歳半未満

実施日　10／5・12・19・26（すべて火曜日）

時　間　午後1時～1時45分

※整理券交付は正午から

場　所　浦添市保健相談センター

※予防接種を受けるときは必ず市から届いた予診票と親子（母子）健康手帳を持参してください。

※対象年齢を超えると全額自己負担になります。

●季節性・新型インフルエンザワクチン接種について

10月1日から季節性インフルエンザワクチンと、昨年流行した新型インフルエンザワクチンを混合した新しいワクチン接種が開始されます（平成22年10月1日から平成23年2月28日まで）。

浦添市では、65歳以上の高齢者に対して接種費用を一部助成（個人負担1、000円で接種できます）し、生活保護および市民税非課税世帯の方に対しては接種費用を全額助成します。

当該対象者には市から案内書を郵送しますので、案内書に従って接種を行うようお願いします。

なお、前記の対象者以外の方もワクチン接種は可能ですが、接種費用は自己負担となります。

※接種を行う医療機関については現在調整中です（9／8現在）。決まり次第、浦添市ホームページおよび広報うらそえ11月号に掲載します。

●日本脳炎2期が接種できるようになりました。

今年4月から日本脳炎2期の予防接種が一時中止となっていましたが、8月27日より接種が可能となりました。また、接種勧奨差し控え期間に接種ができなかった方への費用の助成も行っています。

2期の接種対象者および接種勧奨差し控え期間に係る助成の対象者は9歳から13歳未満となっています。当該対象者のうちワクチン接種を希望する方は健康推進課まで問い合せください。

☎875－2100

〈健康シリーズ〉153

ことばの育ち
～伝えたい気持ちを育てる～

私たち人間にとって言葉は大切なコミュニケーションの一つ。乳幼児健診でも毎年、言葉に関する相談が最も多いほど、言葉の育ちは大事な発達の一つです。

言葉の土台になる力として、「聴力」「言語理解」「対人関係」「発声」「模倣」などが挙げられます。もちろん個人差はありますが、一番大切なのは「伝えようとする気持ち」であると言われています。この「伝えようとする気持ち」の発達は生まれた直後から育っていきます。おっぱいを飲み、息をすることで丈夫になったのどや舌を使い、泣きやなん語で「おっぱいちょうだい～」を伝えます。さらにあやし笑いが得意になった後には、自ら「遊んで～」を声や表情で伝え、1歳前になると指さしやしぐさ、視線で言葉にならない自分の思いや要求を伝えようとします。また、子どもによっては泣いたり、物を投げて"イヤ"を伝えたり・・・。

いろいろな「伝える気持ち」がありますが、それらを「楽しいね」「イヤなんだね」と私たち大人が言葉で共有することで「わかってもらえる」とさらにコミュニケーションの意欲を高めるのです。特別な事ではなく、普段の生活の中で周囲の大人と気持ちを共有することが伝えたい気持ちの育ちへつながり、言葉の発達へ続いていきます。ぜひ、お子様の「伝えたい気持ち」を増やしてあげてください。

参考『1・2・3歳　ことばの遅い子～ことばを育てる暮らしのヒント～　中川信子著　ぶどう社』

ちょこっと スコット!!

ウィルソン・スコット Scott Wilson
2010年8月から国際交流員として、浦添市役所国際交流課に配属される。米国マサチューセッツ州出身

原文・和訳：ウィルソン・スコット

マサチューセッツの秋

私の出身地マサチューセッツ州では秋になると、紅葉色に染まり人々を楽しませます。アメリカの東北部は紅葉で有名ですが、マサチューセッツは特に人気があります。なぜかというと、マサチューセッツの紅葉の最盛期は、例年コロンブス・デー※1と同時に来ますから、観光客は休みを取らなくても旅行できます。また、マサチューセッツには木の種類が多く、色彩も豊かです。カエデ、オーク、クリ、ニレ、カバなどの木の葉の赤、黄色、オレンジの色合いで、山全体が燃えるような紅葉になります。スキー用のチェアリフトを使って、紅葉を木の上からみることもできます。

もちろん紅葉だけではありません。秋はりんごの収穫時期でもあるので、紅葉狩りをしながら、りんご狩りにも行く人が多いです。アップルパイを作ったり、温かいりんごシードル※2を飲んだりするのも秋の習慣です。国中だけでなく、世界中から観光客が集まって、マサチューセッツの秋の恵みを味わいに来ます。

でも楽しいことばかりではありません。紅葉の最盛期が終わったら、落ち葉になります。どんどん積もって、街のいたるところで芝生が落ち葉のじゅうたんみたいになります。熊手で取り除いて、積み上げて、1メートル以上の、落ち葉の小さい山を作ります。それは大人の仕事です。子供の仕事は、両親が汗をかいて、何時間もかかって作った落ち葉の積み重ねに飛び込んで、めちゃめちゃにすることです。ときどき蛇やクモも入っていて、危険を伴いますが、関係ありません。マサチューセッツやアメリカの東北部の子ども達は皆こういった経験をしています。沖縄にいる私は落ち葉に飛び込むことができなくて少し悲しいですが、ゴーヤの積み重ねに飛び込んだらいいかな。

※1 10月の第2月曜日。1492年に、クリストファー・コロンブスが到着したことを祝う。
※2 とても濃い、果汁100%のリンゴジュース。

Fall in Massachusetts

When fall comes to my home state of Massachusetts, both the leaves and people's thoughts turn autumn colors. All of New England may be famous for fall foliage, but Massachusetts is in particular quite popular. One reason is because Massachusetts foliage almost always hits its peak on Columbus Day weekend, so people can travel there without having to take time off of work. Another reason is because Massachusetts has so many different kinds of trees, so the leaves turn many different colors. The shades of red, yellow and orange from the maples, oaks, chestnuts, elms, birches and more set the mountains on fire. You can even use the ski lifts to look at the trees from above.

Of course, it's not all just about the leaves. Fall is also apple harvesting time, so many people go apple picking at the same time that they go see the foliage. It just wouldn't be fall without making apple pies and drinking hot apple cider. People come from not just all over the country, but all over the world to enjoy the wonders of fall in Massachusetts.

But, it's not all fun and games. Once the leaves pass their peak, they fall and pile up everywhere on people's lawns, turning them into huge carpets of crunchy leaves. People have to rake them up, making mini leaf mountains that are several feet tall. Of course, that's the parents' job to do. The kids only have to jump into those piles that their parents made through hours of blood and sweat and make a huge mess. Sometimes there are spiders and snakes hiding in the piles, but that's the danger that comes with such responsibility. Everyone who grew up in Massachusetts and New England has these kind of memories. This year, I'm kind of sad I won't be able to jump into any leaf piles, but maybe I could leap into a pile of goya instead!